

# さわがせ

号数 第 3 4 2 号  
発行日 令和 6 年 5 月 12 日  
発行所 金光教 韮 教会  
〒 550-0011  
大阪市西区阿波座 2-2-10  
TEL&FAX 06(6541) 6313  
mail: utubo1905@gmail.com



勧学祭の後、境内にてガーデンパーティーが開催されました（4月14日）

## 世界真の平和を願って

教会長 鍵山 公 生

本日は令和6年度の天地金乃神大祭をお迎えさせていただき、共々にありがたいこととございます。

お道の信心をしておられる方には、春は天地金乃神様へ、秋には教祖生神金光大神様に御礼申し上げるご祭典であることはどなたもご承知のことですが、中には充分把握しておられない方もあるのではないかと存じます。そのご内容をしっかり心に刻んでおかねばなりません。

天地金乃神様の御大祭には、私たちは命を授けていただき、空気や水を始め、食べるもの一切をお与えいただき、命を長らえさせていただいていることは、真にありがたいことで、この授けられた命をいかにして世のお役に立たせていただくかは、神様からそれぞれの人に与えられたお役目で、自らその役目に気づき、



この世で命をいただいている間に、十分に発揮させていただかねばと自覚する時でもあります。

今年お正月のさわかせ340号に記載させていただきました「神、人双方の働きあってこそ」の文に記させていただきました、「心臓の働きは神様そのもののお働きで、そのお礼の心をいかに表すことができるかは私たちの勤めだ」ということです。そこで神様は何のために私達人間をこの世に送りだされたのかといえ、自らの魂を磨き、神様の御心に沿い、そして世のお役に立ってほしいと願われているのです。

私たちはいかにして魂を磨き、この世に真の平和な世界を築き、幸せな生活ができるかと考えてみるのです。そこで昨年、金光教大阪センターから発行された「こころの練習帳」には、金光様の教えを基にした、幸せに生きるための百の実践項目が取り組みやすく書かれています。この冊子の内容を読み、ぜひ実践していただければと思います。

### 岡山K病院理事長の話から

「金光教という宗教はよろしい宗教ですなあ。金光教という宗教が一番いい宗教じゃと思います」と言われる。「どうして?」と聞くと、「金光教のみ教えに、『祈れ薬れにすればおかげも早い、薬れ祈れにするからおかげにならぬ』 というのがあるでしょう。これは大変なみ教えですな」と言われるのです。

医者とは人の命を助けることができるようなけれど、それがなかなか難しい。神様に祈りながら医者にかかるという。これが本当じゃ。一番いい宗教じゃ、ということは患者を通して分かります」と言われました。



そのように医者も人間です。このごろは立派な医療器具が開発されていますが、いかに優れた医者でも、判断違いもあるでしょうし、投与した薬がその患者にぴったり効くかどうかはわかりません。ですから患者は医者を疑うのではなくとも、医者の方針に従うように、また調合された薬を飲むときにも、この薬が自分の身に合いますようにと祈りを込めたいものです。医者も神様に願いながら治療していただければ患者はどんなに心強く思い、早く回復することになるでしょう。

またその医師が言われるのに、『体の丈夫を願え、体を作れ、何事も体が元なり』とありますが、あれは上と下の「体の丈夫を願え、体が元なり」。と教えられていますが、これは当たり前。真中が一番大事なんです。「体を作れ」と言われるが、どうやって作ったらええかということだ。」とされているのです。

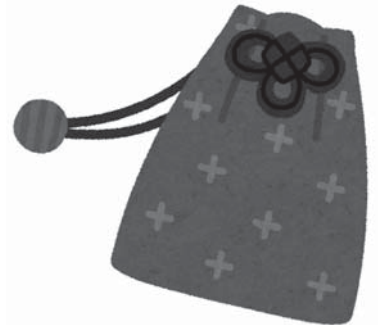
このことはどうしても天地のお恵みがよくわからなければ体の元が自分の心に浮かびません。体を作るにはどういう信心の仕方をしていいかということです。体を作っていくということは、信心させて頂いて、日々教会の先生からお話を伺う中で、野菜一切れ、水一滴、米一粒をいかに大切にしてくか。食物をいただくときに神様に感謝の心を表すなど、そういうところが分かって、体を作っていくおかげを頂くことが大切なのです。

### 日々の信心実践

少し以前のことで、熱心に教会参拝しておられた質店のおばあさんが、あるとき店番をしていてもお客は来られず、奥の部屋に祀っている神様のお掃除をしていました。

お店の入り口が開くとピンポン！とチャイムが鳴るようにしてあったのですが、ふと聞こえたような気もしたが、空耳かと思ってお店に出なかったのです。そして掃除が終わりお店に出たときカウンターの内側に置いてあった金子袋が無くなっていることに気付いたのです。「しまった！盗られた！」。チャイムが鳴ったときにすぐ出て行けばよかったのに、と思っても後の始末。どうしようかと考えていました。そこへ息子の嫁が帰ってきてその話をすると、「そりゃ、すぐに警察に通報を！」と嫁は電話をしかけた。

そこでおばあさんは、神様に御祈念をされ、ふと嫁に、「もうちょっと待とう」と電話するのを止めたのです。おばあさんは、いつも教会で先生が話されているお話で、「盗賊、火付け、総じて心得違いの者におきましては、一切合点、改心仕え奉りますように」と人のことを願うことが大切で、盗んだ人を恨まず、その人が改心されますように願えよ！」と。聞いていたことを思い出し、そう思って家のご神前で、「自分もピンポン」とチャイムが鳴っているのに、勝手に空耳と考えて出ていかなかったことが、自分の落ち度だと神様にお詫びしていました。そして日も暮れ、夕方の5時過ぎになった頃、店に入ってきた17、18才ぐらいの青年。店に置いてあった金子の入った布袋を差し出して、「ごめんなさい」といってお詫びされました。



「実は少し小遣いがほしいので腕時計でも質に入れようと思って店に来ました。ところが誰も出てこないの、店内を見回すと、カウンターの内側にある布袋を見つけ、『もしかしてお金が入っているかも』とその袋を掴んで飛び出した」と言うのです。

その青年の話を知ると、家に帰って袋の中を見ると30万円入り込んでいて、青年にとってはあまりにも多額の金額で、自分でも躊躇したというのです。そのとき学校の先輩に電話で相談したのです。その先輩は、「よく聞けよ。お前の両親はお前を盗人にしようと思って育ててきたのじゃないだろう。両親がそんなことを聞いたらどんなに悲しむことか分からないぞ！。すぐ返してこい！」と叱られ、返しに来たというのです。そのように善い先輩がおられたのでした。

おばあさんはその話を聞かれ、「よう改心されて嬉しい。あなたもお金がほしかったのだから」と言って3千円ほど封筒に入れてその青年に渡そうとしました。しかしその青年は「とんでもない。すみませんでした。」といて逃げるよう帰っていったのです。

おばあさんは金光様のお道では、罪人を懲らしめたいとかではなく、罪人を作らないようにして、盗人のことまで願える広い真の信心をしなければと教えておられるのです。

実際にはこのおばあさんのような善い心で人と接することは難しいことですが、日常の生活の中で、人の目に触れるところに無造作に金品を置いて、他人に悪い心を起こさせないように心がけることも大切でしょう。



### 靱布教120年の年

今年が靱布教120年の年。靱教会はなぜこの地に道を開かれてきたのかを考えますと、この地域の人たちの助かり、そしてこの地を基礎にして、世界に向けて、難渋しておられる人が助かり、日々嬉しく、楽しく、ありがたく生活ができますよう祈り、金光様の御教えに絶えず触れ、親神様の御心に添える信心をさせていただきたいと願っています。皆様一人一人が心を揃え、世界真の平和になりますように御願ひ致します。

## 生神金光大神大祭並びに靱布教120年記念祭奉行

11月17日(日) 午前10時30分より

本年は和田安兵衛先生が靱の地に布教されて120年の記念の年をお迎えいたしました。そして11月17日(日)には、生神金光大神大祭に併せて靱布教120年記念祭が仕えられます。

ご都合お繰り合わせを頂かれ、ご家族そろって、神様に御礼の真心をお供えさせていただきます。

月例霊祭日に、祥月命日の御霊様もお呼び出しして  
ご慰霊させていただきます。  
ご都合お繰り合わせをただかれ、ご参拝下さい。  
(5月25日・6月23日ともに午前10時30分より)

## 境内トイレ改修工事報告

境内にあるトイレは、約50年前に造られたものです。トイレの内部も老朽化し、また生活様式も変化してまいりましたので、このたび和式トイレから洋式トイレに、改修工事が行われました。

見違えるほど綺麗になりました。体のお働きに感謝して、使わせていただきます。



5月12日(日) 午前10時30分より

## 天地金乃神大祭奉行

祭典後説教、講題：「神様とのアクセスポイント」

講師：天下茶屋教会長 白石 達也 先生

### 令和6年5月

- 15日(水) 御本部月参拝 午前6時出発
- 17日(金) 信徒共励会 午前10時
- 25日(土) 月例霊祭執行 午前10時30分



### 6月

- 1日(土) 月例祭執行 午前10時30分
- 2日(日) うりわり墓参 午前7時
- 8日(土) 月例祭執行 午前10時30分
- 9日(日) 教団独立記念祭 御本部参拝
- 21日(金) 信徒共励会 午前10時
- 23日(日) 月例霊祭並びに

夏越感謝祭(人形行事)執行  
午前10時30分

### 7月

- 1日(月) 月例祭執行 午前10時30分

## 勸学祭

4月14日

子どもたちがこれまで、無事成長させていただいたことの御礼と、世のお役に立つ人にならせていただけますよう祈念させていただく祭典、「勸学祭」が仕えられました。祭典後、直会として学用品を頂きました。また本年は境内にてガーデンパーティーが行なわれ、焼きそば・焼き鳥・餃子などをいただきました。

